

はたらくネット



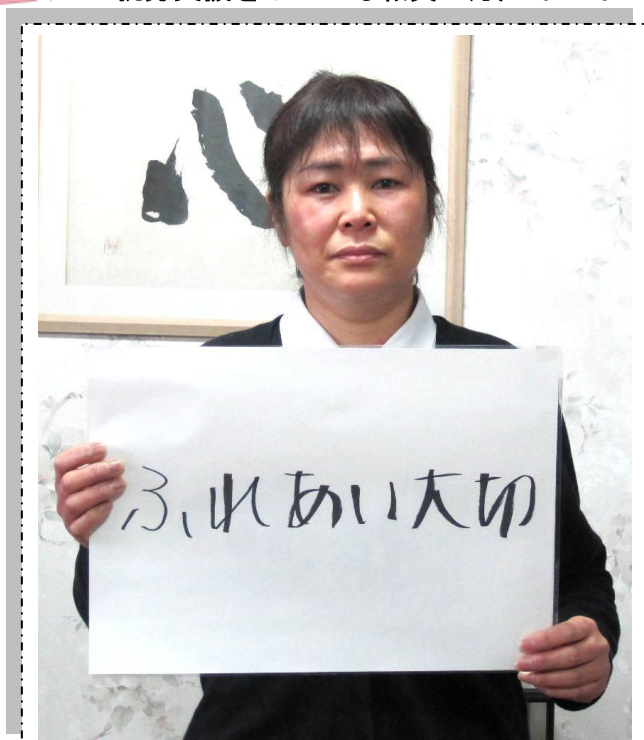
仙台市障害者就労支援センターでは、障害のある方の就労が促進されるように「障害のある方」「企業」「障害のある方の就労支援をしている方」の支援に特に力を入れて、様々な取り組みを行っております。

「障害のある方の就労」に対して、多くの方に興味関心を持っていただき、「障害のある方を受け入れる企業の立場」「障害のある方の支援をする立場」等様々な人たちが「障害のある方の就労」に関することで、社会参加の場が広がっていくことを知っていただく機会を大切にしています。



あなたにとって「はたらく」とは？

〈働いている障害のある方〉〈障害のある方を雇用している企業の方〉〈障害のある方の就労支援をしている職員の方〉それぞれに「はたらく」とは何かを聞いてみました。



《ふれあい大切》

株式会社 あいあーる
葬祭部門 平安祭典
佐々木 ひろ子 さん

障害を持っている事を多くの人に理解してもらいたいと思っています。そのためには、仕事をする事で多くの人と関わり、ふれあうことが重要で、みんなが働きやすい環境になればと思っています。

はたらくみなさんに聞きました「株式会社あいあーる葬祭会館 平安祭典 葬祭部門」

▷ 2 ページ

企業に聞きました「株式会社あいあーる葬祭会館 平安祭典 葬祭部門」

▷ 3 ページ

クローズアップおっきな輪「みやぎ被災聴覚障害者情報支援センター(みみサポみやぎ)」

▷ 4・5 ページ

あなたにとって「はたらく」とは？

▷ 6 ページ

仙台市障害者就労支援センターの取り組みのご紹介

▷ 7 ページ

実施報告・就職者・新職員のご紹介

▷ 8・9 ページ

仙台市障害者就労支援センター利用案内

▷ 10 ページ

はたらくみなさんに聞きました！

あいあー葬祭会館 平安祭典 葬祭部門ではたらく佐々木ひろ子さん
(聴覚障害)にお話を伺いました。(取材日 平成26年2月)

かぶしきがいしゃ
株式会社あいあー
そうさいぶもん 葬祭部門 へいあんさいてん 平安祭典



➤ 就職するまではどんな活動をしていましたか？

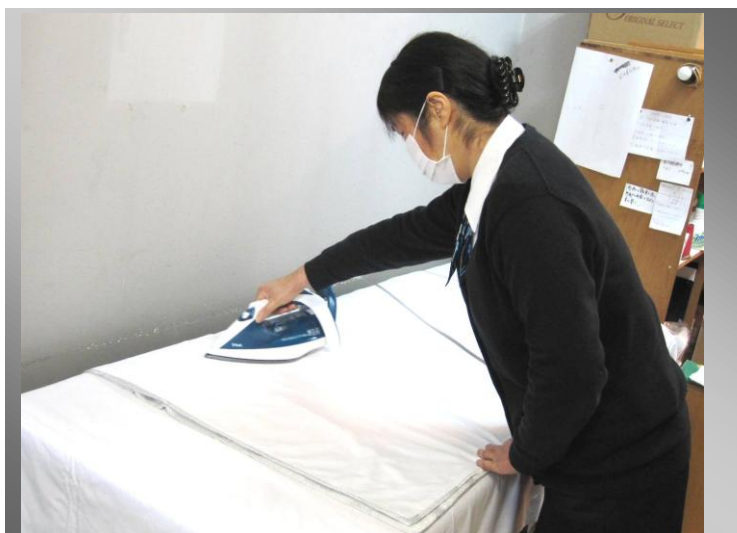
ハローワークで求人検索をしたりしていましたが、なかなか良い求人が見つかりませんでした。そんな中で就労支援センターへ定期的に相談し、今の会社への企業見学を提案されました。見学を経て、「ここで働きたい」と思うようになり、ハローワークへ応募し、採用となりました。

➤ 働いてよかったことは？

今の会社に入ってからもうすぐ2年になるのですが、最初は誰も手話を使って話をできる方はいませんでした。今でも聴覚障害者は私だけですが、私と会話をするために簡単な手話を覚えてくれたりしたのがとても嬉しかったです。

➤ 働いてみて難しいことは？

今は喪服の貸し出しや、衣類をたたむ作業、葬祭関連の備品管理や準備・整理整頓などを主な業務として行っています。その業務の中で、喪服の貸出等をする時は、直接お客様とコミュニケーションを取る場面があります。やり取りをする中で、私は耳が不自由なために、円滑に会話をする事ができず、お客様を待たせてしまう事があります。いつもお客様と私との間には社員の方がいて、三者で話すようにしていますが、会話を理解するまでにはどうしても時間がかかってしまうため、その点は働く上で難しいなと思っています。



◆ 写真左上・右

衣類をたたみ、アイロンをかけている様子。

コミュニケーションを少しでも図れるよう、休憩時間中などに佐々木さんから社員の方々に簡単な手話を教えたりすることもあるそうです！



4ページでは佐々木さんと一緒に働くみなさん取材させていただきました。

◆ これからの目標は？ ◆

同僚の方々と今よりももっとコミュニケーションを図り、話せるようになりたいと思っています。仕事の場なので、なかなか何気ない会話をするのも難しい面がありますが、休憩中等に社員の方と会話したいです。本音を言えば、手話を使って会話してみたいですが、周りの方も手話を覚えるのも大変なので、簡単な手話だけでも覚えてもらえると少しでも話ができるので嬉しく思います。



企業に聞きました！

株式会社あいあーる
葬祭部門 平安祭典

株式会社あいあーる葬祭会館 平安祭典 葬祭部門の金谷幸尚統括部長に障害のある方(佐々木ひろ子さん)の雇用のいきさつや雇用後のお話を伺いました(取材日平成26年2月)。



《株式会社あいあーる》

設立: 昭和36年
本社: 宮城県仙台市
店舗数: 16営業所(3部門設置)
従業員数: 約300名
業務内容: 冠婚サービス、
葬祭サービス等を展開。
(平成26年2月現在)

◆写真左上

一緒に働くみなさんと。(前列右が金谷部長・前列右から二人目が佐々木さん)

➤ 障害のある方を雇用するときに不安はありましたか？

初めて聴覚障害のある方を雇用したときは、耳が不自由なために意志疎通をいかにして図るかは課題でした。私たちは普段は言葉で会話することに慣れているため、ペンや紙を使つての会話(筆談)では「うまく伝えられないのではないか・きちんと伝えられるのか」などの不安を感じる事がありました。しかし、今となつては聴覚障害のある方の雇用も長いためか、会社の中に聴覚障害のある方がいることを普通に感じているため、自然に関わっています。

➤ 雇用にあたっての環境整備は何かされていますか？

「環境整備」と言われると、これといつて整備をしているわけではありません。ハンディはありますが、一人の人間です。耳が不自由なことで何が必要かと考えた時に、自然と筆談が必要だったり、作業を教える時は身振り手振りで教える事が一番だとすぐに答えが出ました。また、佐々木さんは話者の口の動きを読むことに長けているため、正面に立ってゆっくり話せば理解してくれます。

➤ 障害のある方を雇用して良かったことはありますか？

とても真面目に働いてくれ、会社の中での重要な戦力になっており「いてくれなくては困るな」と素直に思います。また、障害のある方と一緒に働いていると普段自分達が普通だと思っている事が、その方々にとっては普通でない事があります。そういった考えから、こちら側が色々気付かされ、「誰にでも働きやすい職場」になっていると思います。

■ 一言メッセージ ■

～就職を目指す方へ～

就職をすれば良いのではなく就職してからが大切です。初めは甘い目で見られますが、だんだん厳しい目にかわっていきます。その中でもきちんと努力し続ける事が大切です。一生懸命であれば、見てくれている人は評価してくれます。

～企業の方へ～

初めての試みは不安だと思いますが、雇えば働いてもらうしかありません。不安とは裏腹に、頭で考えているよりも大変ではなく、当初のイメージとは異なつてよい働きをしてくれています。雇用する上・人を育てる上で健常者・障害者と区分けする必要はないと思います。

～就労を支援している方へ～

雇用側だけでは当事者の気持ちを汲んであげられないこともあります。会社の人には話せない事もあるはずなので、悩み事を相談できる相手や機関があると、雇用側としてもその方の継続性を高めるためにも助かります。

クローズアップ

わ



おつきな輪

みやぎ被災聴覚障害者 情報支援センター (愛称：みみサポみやぎ)

みみサポ

検索

仙台市障害者就労支援センターでは、障害のある方の就労支援をしている関係機関との連携を密に図り、就労を目指している障害のある方、または、現在働いている障害のある方の支援を行っています。その一環として、機関誌で様々な関係機関の特色や取り組みの様子についてシリーズで紹介しています。

●みやぎ被災聴覚障害者情報支援センター（以下みみサポみやぎ）とは？

宮城県からの委託を受け、東日本大震災により被災した聴覚障害のある方の生活再建に向けた相談支援や情報発信を目的として設置されました。聴覚障害のある方々が地域の中で安心して暮らせるように支援しています。今回は様々な取り組みをされているみみサポみやぎの担当者の方々に話を伺いました。

今回は2名の方にお話を伺いました！

事務局長：庄子 陽子さん 相談員：田脇 博子さん

Q1. みみサポみやぎの事業内容について教えてください。

A1. みみサポみやぎでは①情報発信②相談支援③つながり作りの3つの柱を掲げて活動しています。

①情報発信：聴覚障害のある方に対し、ホームページを通じて視覚的に分かるよう、字幕を付けた手話動画で生活に関する情報や手話通訳・要約筆記に関する情報をお流ししています。

また、「みみサポかわら版」という情報誌を作成しており、そちらをその方のニーズに合わせてFAX・郵送・Eメール等でお手元に届けています。

②相談支援：相談に来られる方の個別支援を行っています。来所での相談やみみサポみやぎスタッフが訪問しての相談等お受けしています。相談に来られる方は、ご本人・ご家族・行政機関・会社等、多岐にわたります。

③つながり作り：様々な団体を対象として、聴覚障害に関する出前講座を行っています。地域で聴覚障害のある方が暮らしやすい環境にするために必要なことなどを講座を通して一緒に考えます。

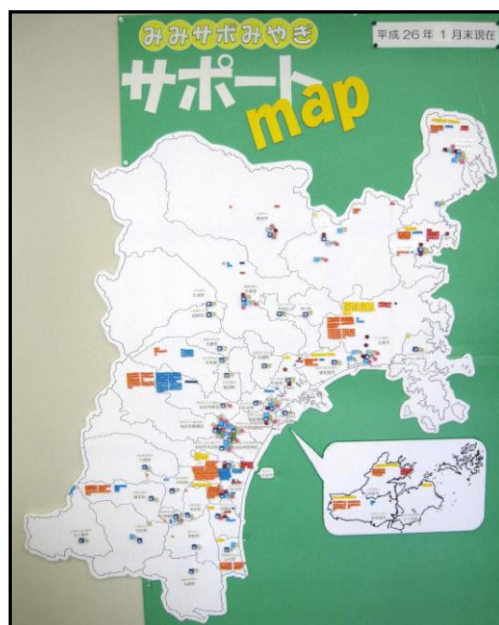
他にも、「みみサポサロン」という取り組みも行っており、県内のそれぞれの地域に出向いて、その地域の状況に合わせた制度に関する事や防災に関する事をお話したり、当事者同士で集まって話し合いをしたりしています。

Q2. 独自の取り組みや特に力を入れている事業があれば教えてください。

A2. つながり作りとみみサポサロンには力を入れて活動しています。みみサポサロンは現在各市町村の担当課とのつながりを持ち、連携のひとつとして実施に至っています。つながり作りの出前講座は、聴覚障害について広く周知していきたいと考えており、機会を増やしていきたいです。聴覚障害のある方を雇用している会社や所属している団体に対してどんどん発信していく、聴覚障害のある方が働きやすい・暮らしやすい環境になるための手助けになればと思っています。

講座は無料で、随時受講希望者・団体を募集しています。お問い合わせは「みみサポ」でご検索下さい！

みみサポみやぎのサポートマップです。
みみサポサロンの活動等に活かしています。



Q3. 相談に来られる方との関わりで、気をつけている事はありますか？

A3. 相談に来られる方の傾向として「周りの方とのコミュニケーション手段に関するご相談」「聴力が今後低下していく事で不安に感じる事へのご相談」等の内容は多いです。関わりの上での注意点としては、利用者が希望するコミュニケーション手段（手話・筆談・音声など）で相談内容をお伺いしています。



写真：面談室の様子



写真：相談時の様子

他にも、聴覚障害のある方と関わる周囲の関係者（ご家族・地域の方や会社の方等）に対しては、少しでも聴覚障害のある方とコミュニケーションがとれるように、挨拶などの簡単な手話を教えたり、表情の大切さを伝えています。聴覚障害のある方は相手の話し方や声のトーンで感情をくみ取る事が難しいため、相手の表情（笑っている、怒っているなど）に敏感です。相手の表情は感情を読み取る上でとても重要になるため、その大切さは健常者の方々にも理解して接して頂きたいです。

Q4. 障害者就労支援機関との関わり方について教えてください。

A4. 就労支援機関との関わりとしては、利用者に対する直接的な個別支援としての連携ではなく、「その方の聴覚障害に関する支援・アドバイス」という形で携わらせて頂いています。就労に対する専門機関はそれぞれありますので、その中で私たちの機関に出来る事として、手話通訳だけでは対応しきれない難しさ等を後方支援しています。

今後も就労支援センターを含めた就労支援機関への支援が、聴覚障害のある方々にとって更に良い支援につながるよう、後方支援をしていきたいと思っています。

Q5. 就労を目指している方へメッセージをお願いします。

A5. 庄子さん：仕事は「ご縁」だと思います。そのタイミングを逃すことなく、良い会社・良いご縁と出会ってほしいなと思います。

田脇さん：「自分の強みはこれです！」と言える強みがあると良いなと思います。また、企業に対して配慮してもらいたいことを自分から伝えられるとさらに良いですね。それは聴覚障害のある方であっても、その他の障害をお持ちの方であっても同じ事だと思います。



写真左：田脇さん 写真右：庄子さん

Q6. 障害のある方の雇用を目指している企業にメッセージをお願いします。

A6. 「聴覚に障害がある」といっても、聴こえる程度や聴こえ方はそれぞれで多様であるため、聴こえる方と聴こえない方の双方にとって、「お互いが通じるコミュニケーション手段」を持つと、仕事を円滑に進められるのではないのでしょうか。コミュニケーション手段は手話だけではなく、筆談はもちろんコミュニケーションツールの一つですが、笑顔一つで、安心することもあります。聴覚障害のある方は視覚的に敏感な事を忘れないでほしいです。時間をかけてその人に合ったコミュニケーション手段を作り上げてほしいなと思います。



企業の方や関係機関の方等、幅広く出前講座等をお受けしています！（手話での相談・対応もいたします。）

私たちと一緒に「聴覚障害のある方が安心して暮らせる環境」を作りませんか？ お気軽にご相談下さい！

※右下のQRコードを読み取ると、スマートフォン・携帯電話向けのホームページへアクセスできます。

みやぎ被災聴覚障害者情報支援センター（みみサポみやぎ）

〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町1-11-1 萩野町Mビル3階

TEL：022-349-9605 FAX：022-349-9606

メールアドレス：info@mimisuppo-miyagi.org





あなたにとって
「はたらく」とは？

＜障害のある方を雇用している企業の方＞

《人生の修行》

株式会社 あいあーる 葬祭部門 平安祭典
葬祭会館 セレモール
取締役 統括部長 金谷 幸尚 さん

仕事をしていると楽しい事ばかりでなく辛い
事もたくさんあります。

いろんな人との関わりが人生を豊かにしてく
れます。その中でいろいろな経験を積むことで
「自分自身を鍛え上げてくれる場」だと思っ
ています。

＜障害のある方の支援をしている方＞

●みやぎ被災聴覚障害者情報支援センター（みみサポみやぎ）



《明日への希望》

みやぎ被災聴覚障害者情報支援センター
事務局長 庄子 陽子 さん

今日の仕事か、明日へ未来へとつながってい
くと信じています。

《社会とのつながり》

みやぎ被災聴覚障害者情報支援センター
相談員 田脇 博子 さん

「働くことを通して、社会に参加する」ことは「人との
つながり」にもなっていると思います。
人とつながることって素敵なことと思っています。



ありがとうございました。次号も様々な方にこの質問を投げかけていきます。



平成26年4月から平成26年度「就労支援サポーター」の活動が始まります。

就労支援サポーターとは？

障害のある方の就労への理解、就労支援の輪を広げて行くことをねらいとして、仙台市障害者就労支援センターの各種事業と一緒に活動いただく方々です。平成25年度から活動を始め、平成26年度が2年目の活動になります。

どんな活動をするの？

活動内容

- ・就労に関するイベント等の補助、講師役等
- ・広報啓発活動に関する活動（機関誌（年4回発行予定）の発行作業等）

上記の活動を仙台市障害者就労支援センターの支援員と一緒にしながら障害のある方の就労について理解を深め、職場や地域活動、学業等に活かしていただき、普及・啓発にご協力いただきます。

平成25年度活動状況

- ① 「はたらく障害のある方のつどい」
→ 企画・立案・当日の進行補助・受付等（年間活動実績5回）
 - ② 「ふれあいワークフェア対策講座」
→ 模擬面接官・受付・当日の進行補助（年間活動実績2回）
 - ③ 「広報啓発活動」
→ 仙台市障害者就労支援センター通信「はたらくネット」発行作業、意見交換（年間活動実績3回）
- 以上 年間10回の活動にご協力をいただきました。（4月の顔合わせを除く）

活動の魅力

- ☑ 障害について学べます。
障害についての知識を深め、障害のある方との関わりを通し、障害について学ぶことができます。
- ☑ 様々な方々と交流がすることができます。
障害のある方だけでなく、就労支援サポーター同士の交流を通して、自身の視野を広げることができます。
- ☑ 自分の力を発揮できます。
自分がこれまで培ってきた経験や特技等を活動の中で発揮できます。

◆平成25年度就労支援サポーターから一言◆

・就労支援センターの活動を知る事が出来たので良かったです。それを知った私達が支援を必要とする方々に対し、就労支援センターの活動を広めるためのネットワークの一つになりたいと思いました。

・普段接点のない方々と活動ができ、視野も広がりました。実際に就労されている方たちの悩みを聞けて、また就労支援センターの職員の対応の仕方など勉強になりました。

・就労支援サポーターの活動を通じ、障害のある方が一人でも多く自立できるための環境整備の必要性・充実を強く感じました。

・障害のある方と利害関係なしに気軽に話ができることが活動上のメリットです。今後就労支援サポーターの活動がさらに広まれば良いと思います。

平成25年度 就労支援サポーターの皆様、ありがとうございました！サポーターさんと活動し色々なお話を伺える時間は、職員としても大変貴重な時間で非常に興味深く勉強になりました。
就労支援サポーターの活動は今後も継続し、就労支援センターと協力して障害のある方の「はたらく」を応援していきます！



じっ し ほう こく 実施報告

◆企業見学・企業実習◆

様々な企業の職場を見学・実習し、自分に合った仕事を探します。

	企業見学			企業実習		
	実施数	参加者	業種	実施数	参加者	業種
10月	1社	2名	老人福祉・介護事業	1社	2名	老人福祉・介護事業
11月	3社	3名	ソフトウェア業、産業機械器具卸売業、スーパーマーケット	—	—	—
12月	2社	2名	コンテナ洗浄業、飲食小売業	1社	1名	スーパーマーケット
1月	1社	1名	製造販売業	2社	2名	産業機械器具卸売業、スーパーマーケット
2月	1社	3名	衣類販売業	1社	1名	産業機械器具卸売業

◆就職活動サポート講座（求職者・事業所向け）◆

希望に合わせた講座を開催しています。

	対象	参加者	内容
11月	精神科デイケア	12名	「働くために必要な準備とは？」をテーマに講座を行いました。就労について具体的な質問が多く見られ、参加者の意欲の高さが伺えました。
12月	特別支援学校高等部	6名	「仙台市障害者就労支援センターのご紹介」をテーマに講座を行いました。卒業後の相談機関としてセンターを知ってもらい良い機会となりました。
12月	就労移行支援事業所	4名	講座終了後、就労準備チェックリストをお渡しし、活用頂くようアドバイスをしました。参加者の方々にはセンターを知ってもらい良い機会となりました。
12月	地域活動推進センター	17名	新聞社へ企業見学会を行いました。普段は見ることができない報道分野の内部を見学できたことから、興味を持って質問をする参加者が多数見られました。
1月	就労移行支援事業所 就労継続支援B型事業所	8名	「履歴書の書き方・面接の受け方について」講義と模擬面接を行いました。実践形式の模擬面接では緊張しながらも自分をアピールすることができていました。
1月	特別支援学校高等部	14名	「仙台市障害者就労支援センターのご紹介」をテーマに講座を行いました。卒業後の相談機関としてセンターを知ってもらい良い機会となりました。
2月	精神科デイケア	17名	「働くために必要な準備とは？」をテーマに講義と模擬面接を行いました。講義の中ではグループワークも取り入れ、積極的な意見交換・発言が印象的でした。
2月	相談支援事業所	10名	「働く時のルールとマナーについて」をテーマに講座を行いました。就労準備チェックリストの記入や、事例を出して「こんなときどうする？」という質問をしながら進め、今までのことを振り返りながら参加される方が見られました。

◆ふれあいワークフェア・障害者就職面接会 参加者向け対策講座◆

実施日	場所	参加者	内容
1月20日 (月)	仙台MTビル4階 大会議室	午前23名 (内支援者7名) 午後30名 (内支援者14名)	ふれあいワークフェアに備え、障害者就職面接会の概要についての講話と模擬面接を行いました。模擬面接官の方から面接の受け方についてのアドバイスを頂き、本番に向けての良い機会となりました。参加者は真剣に取り組み、緊張感のある雰囲気での開催となりました。※午前・午後共に同内容で開催。

◆はたらく障害のある方のつどい◆

仙台市内在住の就労されている方の余暇の充実をお手伝いします。

実施日	場所	参加者	内容
10月27日 (日)	仙台市福祉プラザ	7名	「ゲームで心も体も元気になる！」では、障害の枠を超えリラックスした中で楽しく過ごす事が出来ました。後半のフリートークでは仕事の悩みや普段職場では話せない事を話したり、他の方の意見を聞くことができ、貴重な時間となりました。
12月22日 (日)	仙台市福祉プラザ	11名	まっぼっくりを使った「クリスマスアート」を作りながらなごやかな雰囲気での交流を深めました。後半のフリートークでは「働き続けるために大切なこと」をテーマに話し合いました。仕事をする上で基本的なことですが、大切と思われる事をみなさんで再確認しました。
2月22日 (土)	仙台市福祉プラザ	14名	今年度最後の開催となり、「今年度1年の仕事を振り返って」等をテーマにフリートークを行いました。今年度のお仕事の中で環境が変わった方・転職をした方などそれぞれの1年間を過ごされたようでした。

◆働きたい障害のある方向け説明会◆

仙台市障害者就労支援センターのサービス内容や就労に関する情報提供を行っています。

実施日	参加者	場所	実施日	参加者	場所
10月27日(日)	5名	泉社会福祉センター	12月21日(土)	13名	仙台市福祉プラザ
11月16日(土)	3名	仙台市宮城野障害者福祉センター	1月25日(土)	1名	仙台市若林障害者福祉センター
11月27日(水)	6名	仙台市障害者就労支援センター	2月16日(日)	5名	仙台市太白障害者福祉センター
12月11日(水)	2名	仙台市障害者就労支援センター	2月26日(水)	1名	仙台市障害者就労支援センター

各連絡会議の実施報告

◆高次脳機能障害者就労支援連絡会議◆

回	日時	参加者	内容
第2回	10月12日(土)	49名	仙台市との共催で「働く高次脳機能障害のある方からのメッセージ」をテーマに当事者・雇用主・ご家族・支援機関の立場からお話を頂きました。今回は復職された方のお話でした。高次脳機能障害のある方の復職を望む声は多く、たくさんの方が参加されました。
第3回	2月26日(水)	12名	「高次脳機能障害者に対する支援の在り方を考える～事業所のストレングスを活かした支援方法～」をテーマに事例検討を行いました。事例は自立訓練事業所から就労支援事業所への支援移行を取り上げ、事例に対し「自分の事業所ならばこのような支援ができる」といったそれぞれの強みを活かした支援方法を出しました。

◆発達障害者就労支援連絡会議◆

回	日時	参加者	内容
第2回	10月28日(月)	73名	仙台市との共催で「発達障害のある方の雇用～企業からのメッセージ～」をテーマに当事者・雇用主・支援機関の立場からお話を頂きました。当日はご家族・支援機関・企業や学校関係者等幅広い層からご参加いただき、企業の方からは「採用に向けて参考になった」「障害特性を知った事で、更に就労現場の見学をしてみたいと思った」との前向きな意見を多数頂く事ができました。
第3回	12月13日(金)	49名	宮城教育大学特別支援教育総合センター 野口教授から講話をいただきました。発達障害の特性・対応例をわかり易くお話頂き、発達障害の方のものの見え方等を体験する時間も設けて頂きました。

◆知的障害者就労支援連絡会議◆

回	日時	参加者	内容
第1回	12月18日(水)	73名	仙台市との共催で「知的障害のある方からの雇用～事業者からのメッセージ～」をテーマに当事者・雇用主の立場からお話を頂きました。雇用主の方から現場で必要とされるサポートの必要性を説明頂き、今後障害者雇用を考える企業にとっては有意義な機会になったのではないかと思います。

◆精神障害者就労支援連絡会議◆

回	日時	参加者	内容
第1回	1月26日(日)	58名	仙台市との共催で「働く精神障害のある方からのメッセージ」をテーマに当事者・雇用主・支援機関の立場からお話を頂きました。当事者の方からの発表は多くの関心を引き、啓発にもつながりました。精神障害のある方の雇用は今後も注目されることが考えられ、多くの方からご参加いただきました。

就労職者

※支援機関や企業と連携し、就労支援センターが企画した企業見学、実習、企業への委託訓練等を経て、求職活動を進め、就職が決定した方。

	就職者数	職種		就職者数	職種
10月	2名	清掃業務、衣類補修作業	1月	2名	カゴ・カート回収業務、清掃業務
11月	1名	老人介護施設員	2月	1名	チラシ折り・ポスティング業務
12月	1名	システムエンジニア(システム開発・ネットワーク開発等)			

仙台市障害者就労支援センター

新職員のご紹介



支援員 丸山 毅
10月から支援員として勤務しています。障害のある方、皆さんの就労を応援します。一緒に頑張りましょう！



支援員 後藤 祐子
11月より支援員として勤務しております。どうぞよろしくお願い致します。

仙台市障害者就労支援センター利用案内

■ 利用時間：

	月曜日～金曜日	土・日・祝
窓口での相談	8：30～17：00	休み
電話相談・移動相談	8：30～19：30	8：30～17：00

※ 土日祝日は各区にある障害者福祉センターなどにおいて「移動相談窓口」を設けます。

※ 移動相談の日程は、市政日より・当センターホームページに掲載しています。

※ 12月29日～1月3日はお休みとなります。

■ 相談方法：来所・電話・FAX・Eメールにて受け付けております。

※ 来所は原則として予約制です。事前にセンターまで希望日時をお知らせください。

こんな相談を
お受けしています。



〈障害のある方〉

- 働きたいのですが、何をしたらいいかわかりません。
- 仕事はどうやって探したらいいですか？
- 仕事を辞めてしまって、どうしたらいいかわかりません。
- 仕事がうまくできなくて困っています。

〈企業・事業所の方〉

- 障害のある方を雇用しようと思うのですが、どんな配慮が必要ですか？
- 障害のある方を雇用する際に利用できる制度はありますか？
- 障害のある方の雇用を続けるための工夫や環境整備の仕方を教えてください。

■ 費用：相談・支援サービスは無料です。

※ 実習等にかかる交通費、食事代等は実費負担があります。

■ 対象となる方：仙台市にお住まいの15歳以上の障害のある方で就労希望、もしくは就労中の方。

※ ご家族・事業主様からの相談もお受けします。 ※ 障害者手帳の有無は問いません。

■ アクセス：



編集後記

天も地もだんだんに春のよそおいになってきました。当センターの機関誌を読んで頂くことにより様々な就労に関する情報を提供できるように努めてまいります。就労中もしくは就労を目指す障害のある方の手助けとなるよう今後も企業・関係機関のみなさまのご協力をいただきながらサポートさせていただきます。今後ともよろしく願いいたします。

発行：仙台市障害者就労支援センター

(指定管理者：社会福祉法人仙台市障害者福祉協会)

住所：〒981-3133

仙台市泉区泉中央2丁目1-1

泉区役所東庁舎5階

電話：022-772-5517

FAX：022-772-5519

Eメール：info@sendai-wsc.jp

ホームページ：http://www.sendai-wsc.jp/